

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	保険医療課	
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保	重点的方針	1. 高齢者の安心な暮らし支援	
分野別方針	(8)社会保障制度の適正な運用	実施計画事業	1) 制度の適切な運用(No.9)	
予算等事業名	後期高齢者医療保険運営事業			
目的	社会保障制度の適切な運営のため、運営事務及び保険税(料)徴収事業を行う。			
内容	後期高齢者医療に係る円滑な運営事務の遂行の必要経費			
根拠法令・条例等	高齢者の医療の確保に関する法律			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか
<input type="checkbox"/> ① 計画どおりに進捗している <input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている <input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか
<input type="checkbox"/> ① 検討できる <input type="checkbox"/> ② 削減は困難
理 由

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか
<input type="checkbox"/> ① 検討できる <input type="checkbox"/> ② 効率化は困難
理 由

中間評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止) 【説明】
------	--

総合評価

実績	診療報酬明細書の点検業務		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	件数		
前期(27年度)目標値 単位:	120,000件	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値 平成25年度	平成26年度	平成27年度	医療費の適切な執行を図るために実施するレセプト点検件数
	114,000件		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,740	1,721				
財源内訳	一般財源	1,740	1,721				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない 【説明】後期高齢者医療広域連合を設置することで、市町村の枠を超えて連携・補完でき、広域的に処理されることで住民サービスの向上・事務の効率化を進めることができる事業である。	A
	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある 【説明】 町民にとって身近な町が窓口となる必要のある事業である。	A
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がってない 【説明】 計画どおり事業を完了した。	A
	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない 【説明】 広域化により、費用の削減につながっている。	A
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止) 【説明】 今後も広域連合と協力して、安定した事業運営を図る。	A
	今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保障のみならず、充実した保健事業活動を展開し、被保険者の健康の保持増進に努める。 ・2年に1度保険税の見直しを行い、安定した財政運営を図っていく。

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
理由	今後も広域連合と協力して安定した事業運営を図る。						
今後の方向性	定着しつつある制度の運用を周知しながら、安定した財政運営を図っていく。						